小さな環境意識

細井 美愛

環境問題は人の意識で変わっていくことができる。私が今回の研修中、肌で感じたことである。

川の氾濫を防ぐために堤防を作っている防災サイトにお邪魔した際、「堤防を作ったら川に流れるゴミがほとんどなくなった。なぜなら JICA さんとフィリピン政府の方々が、建設中に川周辺の人々に、環境保全の大切さを伝える活動を行っていたからだ。」というお話しがあった。この活動はあまり表に出ることがなく、現地の人からしてみてもちょっとした変化に過ぎないのだろう。それでもこの見えない努力こそが重要なものであり、そこに住んでいる人々に寄り添った環境保全なのだろうと思った。人の意識や習慣を変えるのは難しい。これは私が行っている廃油石鹸プロジェクトにおいて痛いほど感じたことである。それでもこの努力がゴミを捨てにくい環境を作ったり，少しでも環境を意識しようと心がけるきっかけになったりする。

フィリピンの川はどこに行っても濁っており、道には日本よりもはるかにごみが落ちていた。まだまだ開発途上国の国にとって、使い捨て出来るものはとても魅力的だろう。そんな中でも少しずつ環境を意識し豊かな地球を次に残そうと一緒に前に進む人を私は増やしていきたい。

小さな意識と習慣がやがて世界を変えていく。けして簡単なことではないけれど、自身のプロジェクトを通して少しずつ自分にできることをやっていきたい。